

評価実施手引書 全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」 (平成14年度着手分) 新旧対照表

改訂の内容


本機構が作成する評価報告書の様式を各評価項目ごとの記述から，各活動の分類及び各評価項目ごとの記述に変更

評価報告書の様式の変更に伴う改訂

【変更の理由】

目的及び目標に関する事前調査において，本テーマに関して大学等によっては，かなりの多くの「個別活動」が提示されたことにより，当初の評価報告書の様式では，活動ごとの記述について評価項目ごとにわかりやすく示すことが困難であると想定されたため。

【変更箇所】

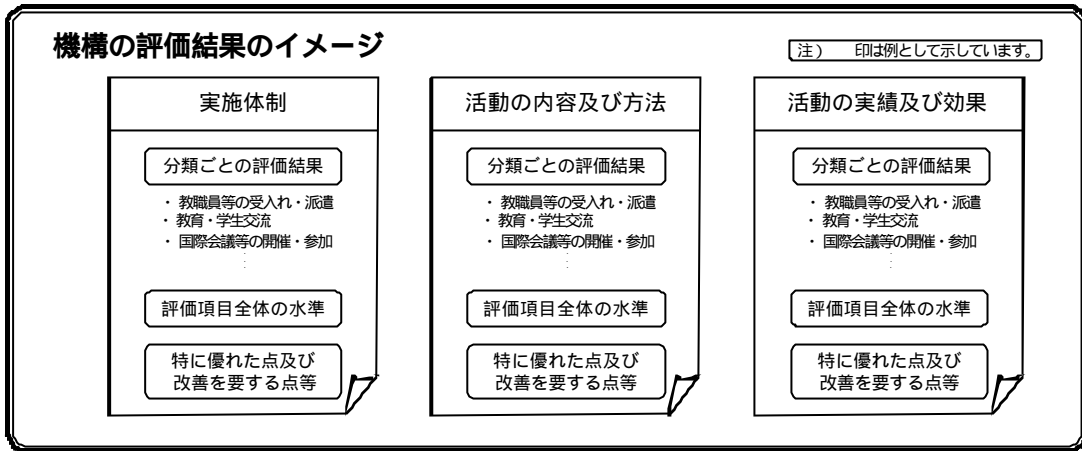
記述の変更となる箇所はで示していますが，図については変更となる箇所を抜粋しています。

P.10

旧	新
大学等の自己評価と機構の評価結果	大学等の自己評価と機構の評価結果
<p>大学等においては，評価の対象となる活動をその意図や趣旨により分類した上で，その分類を単位として，本章の「評価の内容」の各評価項目ごとに行う活動の分類単位の自己評価，及び，活動の分類単位の自己評価結果を各評価項目ごとに見た，「水準」と「特に優れた点及び改善を要する点等」を判断する評価項目単位の自己評価を行い，それらの結果を自己評価書として取りまとめ機構に提出します。</p> <p>機構では，大学等から自己評価書として提出される「活動の分類単位の自己評価」及び「評価項目単位の自己評価」を分析・調査した上で，各評価項目ごとに評価結果を作成します。</p>	<p>大学等においては，評価の対象となる活動をその意図や趣旨により分類した上で，その分類を単位として，本章の「評価の内容」の各評価項目ごとに行う活動の分類単位の自己評価，及び，活動の分類単位の自己評価結果を各評価項目ごとに見た，「水準」と「特に優れた点及び改善を要する点等」を判断する評価項目単位の自己評価を行い，それらの結果を自己評価書として取りまとめ機構に提出します。</p> <p>機構では，大学等から自己評価書として提出される「活動の分類単位の自己評価」及び「評価項目単位の自己評価」を分析・調査した上で，各活動の分類及び各評価項目ごとに評価結果を作成します。</p>
大学等の自己評価と機構の評価結果のイメージの関係図	大学等の自己評価と機構の評価結果のイメージの関係図
下記図のとおり	

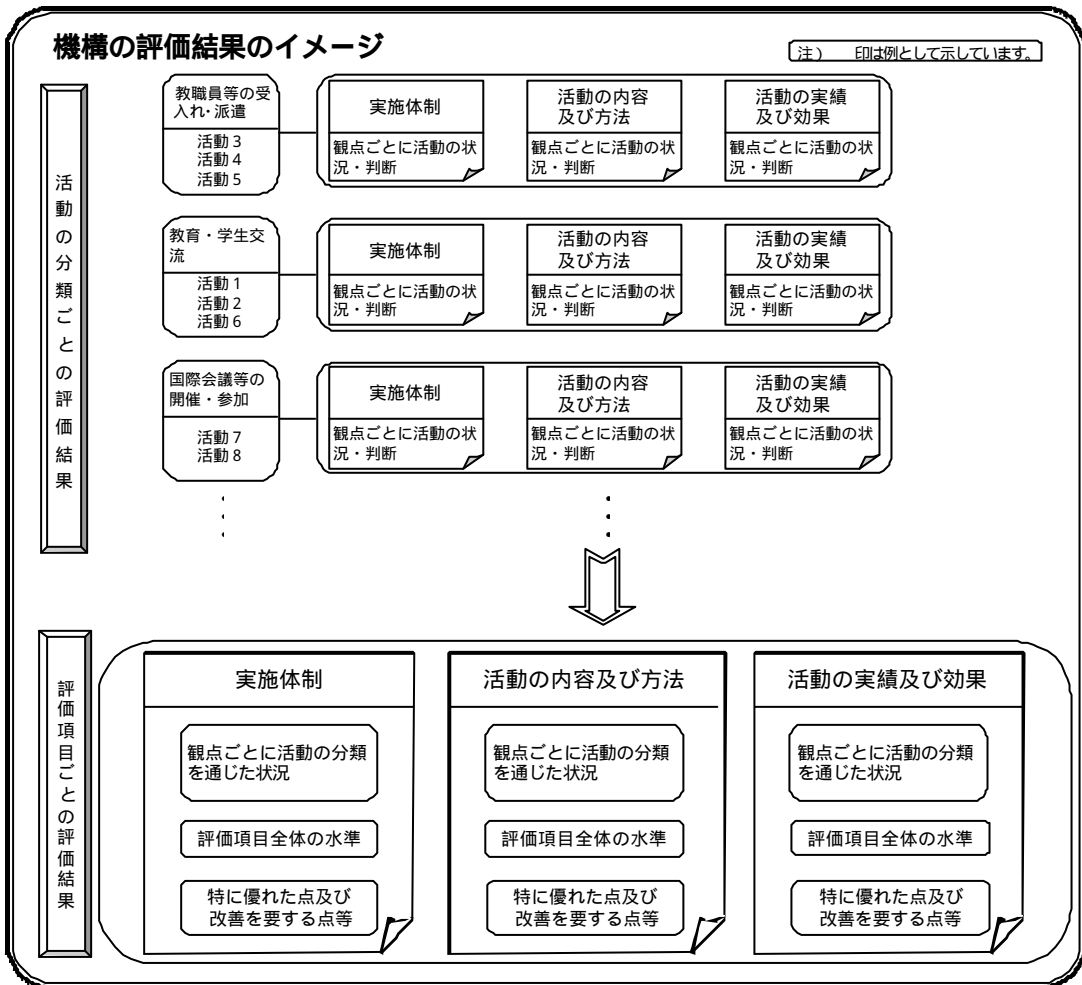
旧

大学等の自己評価と機構の評価結果のイメージの関係図



新

大学等の自己評価と機構の評価結果のイメージの関係図



旧	新
<p>第2章 全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」の評価方法(1) - 書面調査</p> <p>本章は、全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」の評価方法である「書面調査」及び「ヒアリング」のうち、評価チームの行う「書面調査」について記載しており、「書面調査の実施体制及び方法等」、 『「目的及び目標」と「評価の対象となる活動及び目標」の確認』、「評価項目ごとの評価」、「書面調査段階での評価案の整理」、「評価の観点及び着目点例」及び「水準の記述法とその考え方」から構成されています。</p>	<p>第2章 全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」の評価方法(1) - 書面調査</p> <p>本章は、全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」の評価方法である「書面調査」及び「ヒアリング」のうち、評価チームの行う「書面調査」について記載しており、「書面調査の実施体制及び方法等」、 『「目的及び目標」と「評価の対象となる活動及び目標」の確認』、「活動の分類及び評価項目ごとの評価」、「書面調査段階での評価案の整理」、「評価の観点及び着目点例」及び「水準の記述法とその考え方」から構成されています。</p>

旧	新
<p style="text-align: center;">評価項目ごとの評価</p> <p>1 書面調査による評価 (1) 評価チームは、「目的及び目標」及び「評価の対象となる活動とその目標」を理解・確認した上で、書面調査による評価項目ごとの評価を実施します。 具体的には、大学等から提出された自己評価書の「活動の分類単位の自己評価結果」及び「評価項目単位の自己評価結果」について、目標等に照らして、評価項目ごとに自己評価結果とその根拠となるデータ等により分析・調査及び判断を行います。</p>	<p style="text-align: center;">活動の分類及び評価項目ごとの評価</p> <p>1 書面調査による評価 (1) 評価チームは、「目的及び目標」及び「評価の対象となる活動とその目標」を理解・確認した上で、書面調査による活動の分類及び評価項目ごとの評価を実施します。 具体的には、大学等から提出された自己評価書の「活動の分類単位の自己評価結果」及び「評価項目単位の自己評価結果」について、目標等に照らして、活動の分類及び評価項目ごとに自己評価結果とその根拠となるデータ等により分析・調査及び判断を行います。</p>

旧	新
<p style="text-align: center;">書面調査段階での評価案の整理</p> <p>1 評価チームは、本章の「評価項目ごとの評価」で行った書面調査での分析・調査結果に基づき、書面調査段階での評価案を整理し、取りまとめた上で専門委員会に報告します。</p>	<p style="text-align: center;">書面調査段階での評価案の整理</p> <p>1 評価チームは、本章の「活動の分類及び評価項目ごとの評価」で行った書面調査での分析・調査結果に基づき、書面調査段階での評価案を整理し、取りまとめた上で専門委員会に報告します。</p>

旧	新
<p>第4章 評価結果原案の作成</p> <p>本章は、評価チームが行う評価結果原案の作成方法について記載したものであり、「評価結果原案の構成」、「評価項目ごとの評価結果の記述」、「評価結果の概要の記述」及び「評価結果原案の取扱い」から構成されています。</p> <p style="text-align: center;">評価結果原案の構成</p> <p>1 評価チームは、書面調査段階での評価案をヒアリングで得られた知見によって、修正又は加筆して、評価結果原案を作成します。また、評価チームが作成する評価結果原案の構成は、次のとおりとします。</p> <p>(1) 「対象機関の概要」 (2) 「目的」 (3) 「目標」 (4) 「対象となる活動及び目標の分類整理表」 (5) 「評価項目ごとの評価結果」 (6) 「評価結果の概要」 (7) 「特記事項」</p> <p>2 「対象機関の概要」、「目的」、「目標」、「対象となる活動及び目標の分類整理表」及び「特記事項」については、原則として各大学等から提出のあった自己評価書から該当部分を原文のまま転載します。</p> <p>3 「評価項目ごとの評価結果」及び「評価結果の概要」のそれぞれの記述方法は、後記 から によることとします。</p> <p style="text-align: center;">評価項目ごとの評価結果の記述</p> <p>1 評価チームは、評価項目ごとの評価結果を、「書面調査」及び「ヒアリング」を経て検討・整理した評価案に基づき、各評価項目ごとに原則としてA4版1ページ(2,000字以内)で記述しますが、評価項目全体でA4版3ページ(6,000字以内)の範囲内であれば、各評価項目ごとの記述量は調整することも可能とします。</p>	<p>第4章 評価結果原案の作成</p> <p>本章は、評価チームが行う評価結果原案の作成方法について記載したものであり、「評価結果原案の構成」、「評価結果の記述」及び「評価結果原案の取扱い」から構成されています。</p> <p style="text-align: center;">評価結果原案の構成</p> <p>1 評価チームは、書面調査段階での評価案をヒアリングで得られた知見によって、修正又は加筆して、評価結果原案を作成します。また、評価チームが作成する評価結果原案の構成は、次のとおりとします。</p> <p>(1) 「対象機関の概要」 (2) 「目的」 (3) 「目標」 (4) 「対象となる活動及び目標の分類整理表」 (5) 「評価結果」 ・活動の分類ごとの評価結果 ・評価項目ごとの評価結果 (6) 「特記事項」</p> <p>2 「対象機関の概要」、「目的」、「目標」、「対象となる活動及び目標の分類整理表」及び「特記事項」については、原則として各大学等から提出のあった自己評価書から該当部分を原文のまま転載します。</p> <p>3 「評価結果」の記述方法は、後記 によることとします。</p> <p style="text-align: center;">評価結果の記述</p> <p>1 活動の分類ごとの評価結果</p> <p>評価チームは、活動の分類単位の評価結果を、「書面調査」及び「ヒアリング」を経て検討・整理した評価案に基づき、各活動の分類について、評価項目ごとに観点ごとの活動の状況・判断をA4版5ページ以内(10,000字以内)で記述します。</p> <p>2 評価項目ごとの評価結果</p> <p>評価チームは、主として前記1の「活動の分類ごとの評価結果」を基に、「評価項目ごとの評価結果」をA</p>

<p>2 評価項目ごとの評価結果の記述構成は、次のとおりとします。</p> <p>(1) 評価結果は、「目標の達成への貢献の状況」又は「目標で意図した実績や効果の状況」及び「特に優れた点及び改善を要する点等」の2項目で構成します。</p>	<p>4版2ページ以内(4,000字以内)で記述します。</p> <p>評価項目ごとの評価結果の記述構成は、次のとおりとします。</p> <p>(1) 評価項目ごとの評価結果は、「目標の達成への貢献の状況」又は「目標で意図した実績や効果の状況」及び「特に優れた点及び改善を要する点等」の2項目で構成します。</p>
---	---

P.26

旧	新
<p>評価結果の概要の記述</p> <p>評価チームは、主として前記の「評価項目ごとの評価結果の記述」の2の(2)及び(3)を基に、評価結果の概要をA4版1ページ(2,000字以内)で記述します。</p> <p>評価結果原案の取扱い</p> <p>1 評価チームが作成する評価結果原案は、専門委員会の審議を経て評価結果原案として確定され、「大学評価・学位授与機構が行う評価の概要」を加えた上で、大学評価委員会に評価報告書原案として提出されます。</p> <p>2 最終的な評価報告書は、「大学評価・学位授与機構が行う評価の概要」、「対象機関の概要」、「目的」、「目標」、「対象となる活動及び目標の分類整理表」、「評価項目ごとの評価結果」、「評価結果の概要」、「意見の申立て」及び「特記事項」によって構成され、大学等及び設置者へ通知し、社会へ公表します。(資料5「評価報告書イメージ」(p.35)参照。)</p>	<p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>評価結果原案の取扱い</p> <p>1 評価チームが作成する評価結果原案は、専門委員会の審議を経て評価結果原案として確定され、「大学評価・学位授与機構が行う評価の概要」を加えた上で、大学評価委員会に評価報告書原案として提出されます。</p> <p>2 最終的な評価報告書は、「大学評価・学位授与機構が行う評価の概要」、「対象機関の概要」、「目的」、「目標」、「対象となる活動及び目標の分類整理表」、「評価結果」、「意見の申立て」及び「特記事項」によって構成され、大学等及び設置者へ通知し、社会へ公表します。(資料5「評価報告書イメージ」(p.37)参照。)</p>

P.35 ~ 36

旧	新
<p>資料5 評価報告書イメージ (全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」)</p>	<p>資料5 評価報告書イメージ (全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」)</p>

大学

5. 評価項目ごとの評価結果

(1) 実施体制

目標の達成への貢献の
状況 -----

----- (活動ごとの記述) -----

----- (項目全体の水準 -----
----- がわかる記述) -----

----- 特に優れた点及び改善 -----
----- を要する点等 -----

-5-

大学

(2) 活動の内容及び方法

目標の達成への貢献の
状況 -----

----- (活動ごとの記述) -----

----- (項目全体の水準 -----
----- がわかる記述) -----

----- 特に優れた点及び改善 -----
----- を要する点等 -----

-6-

大学

(3) 活動の実績及び効果

目標で意図した実績や
効果の状況 -----

----- (活動ごとの記述) -----

----- (項目全体の水準 -----
----- がわかる記述) -----

----- 特に優れた点及び改善 -----
----- を要する点等 -----

-7-

大学

5. 評価結果

5-1. 活動の分類ごとの評価結果

(1) 教職員等の受
れ・派遣 -----

----- 【実施体制】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 ----- 【活動の実績及び効果】
----- ・判断を記述) -----

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

----- 【活動の内容及び方法】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 ----- (2) 教育・学生交流
----- ・判断を記述) ----- 【実施体制】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

-5-

大学

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

----- (3) 国際会議等の開 -----
----- 催・参加 -----

----- 【活動の内容及び方法】 ----- 【実施体制】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) ----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

----- 【活動の実績及び効果】 -----

----- 【活動の内容及び方法】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) ----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

-6-

大学

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) ----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

----- 【活動の実績及び効果】 -----

----- 【活動の内容及び方法】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) ----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

----- (4) 国際共同研究の実 -----
----- 施・参画 ----- 【活動の実績及び効果】 -----

----- 【実施体制】 -----

----- (観点ごとに活動の状況 -----
----- ・判断を記述) -----

-7-

大学

・判断を記述) (観点ごとに活動の状況

 ・判断を記述)

(5) 開発途上国等への
国際協力 【活動の実績及び効果】
 【実施体制】 -----
 ----- (観点ごとに活動の状況
 (観点ごとに活動の状況 ・判断を記述)
 ・判断を記述) -----

 ----- (6)
 【活動の内容及び方法】 【実施体制】

-8-

大学

(観点ごとに活動の状況 (観点ごとに活動の状況
 ・判断を記述) ・判断を記述)

【活動の内容及び方法】

(観点ごとに活動の状況
 ・判断を記述)

【活動の実績及び効果】
 ----- (追込みでp.5以内とする)

-9-

旧

新

大学

6. 評価結果の概要 -----
 項目別評価の概要 -----
 (1) 実施体制 -----

 ----- (3) 活動の実績及び効果

 (2) 活動の内容及び方法 -----

-8-

大学

5-2 評価項目ごとの評価結果

評価の対象となる活動の -----
 分類 特に優れた点及び改善
 ----- を要する点等

(1) 実施体制 -----
 目標の達成への貢献の -----
 状況 (2) 活動の内容及び
 ----- 方法
 (観点ごとに活動の分類 目標の達成への貢献の
 を通じた状況の記述) 状況

 ----- (観点ごとに活動の分類
 を通じた状況の記述)

 ----- (項目全体の水準がわか
 る記述) -----

-10-

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">大学</p> <p>-----</p> <p>(項目全体の水準がわかる記述)</p> <p>-----</p> <p>----- (項目全体の水準がわかる記述)</p> <p>特に優れた点及び改善を要する点等</p> <p>-----</p> <p>----- 特に優れた点及び改善を要する点等</p> <p>-----</p> <p>(3)活動の実績及び効果</p> <p>-----</p> <p>----- 目標で意図した実績や効果の状況</p> <p>-----</p> <p>(観点ごとに活動の分類を通じた状況の記述)</p> <p>----- (追込みでp.2以内とする)</p> <p style="text-align: center;">- 11 -</p> </div>
旧	新
<p>注1) 「5. 評価項目ごとの評価結果」の項目全体の水準がわかる記述においては、各評価項目を総括する際に、次の5種類の表現を用います。</p> <p>評価項目「実施体制」及び「活動の内容及び方法」</p> <p style="padding-left: 20px;">十分に貢献している。 おおむね貢献している。 相応に貢献している。 ある程度貢献している。 ほとんど貢献していない。</p> <p>評価項目「活動の実績及び効果」</p> <p style="padding-left: 20px;">十分に挙げている。 おおむね挙げている。 相応に挙げている。 ある程度挙げている。 ほとんど挙げていない。</p> <p>注2) 各項目は、原則として1ページ以内に記述します。</p> <p>注3) は、大学等から提出された自己評価書等からの転載部分です。</p>	<p>注1) 「5-2. 評価項目ごとの評価結果」の水準は、各活動の分類の観点ごとの状況と判断に基づいて総合的に導き出し、次の5種類の表現を用いて記述します。</p> <p>評価項目「実施体制」及び「活動の内容及び方法」</p> <p style="padding-left: 20px;">十分に貢献している。 おおむね貢献している。 相応に貢献している。 ある程度貢献している。 ほとんど貢献していない。</p> <p>評価項目「活動の実績及び効果」</p> <p style="padding-left: 20px;">十分に挙げている。 おおむね挙げている。 相応に挙げている。 ある程度挙げている。 ほとんど挙げていない。</p> <p>(削除)</p> <p>注2) は、大学等から提出された自己評価書等からの転載部分です。</p>